



道民カレッジロゴマーク  
愛称「マナボー」

college news

# カレッジだより

～学びから 夢が生まれる道民カレッジ～

2014 Mar.

vol. 25

## 「いしかり市民カレッジにおける道民カレッジ 連携講座の取り組み」について

いしかり市民カレッジ 運営委員長 山田 治己



石狩市は人口6万弱、札幌市に隣接し、多くの方が札幌に勤務している。私の自宅も石狩浜より札幌に近いという地域であり、現職時代は札幌人、退職後は石狩人になるといわれる。30年住んでいても石狩の事がよくわからない。地域にもなじんでいないという実態である。

そのような中で、石狩の地に「市民カレッジ」を作りたいという気運が高まり、平成16年に設立された「生涯学習ボランティアの会」平成18年の「社会教育委員の会議」平成19年設立の「学びのスタンプの会」をベースに代表等が集まり、「いしかり学びをつくる会」を設立した。いしかり学びをつくる会と「市教育委員会」の協働体制で、平成21年4月「いしかり市民カレッジ」が開校された。

目的として「学びを通して市民の生きがいを高め、まちづくり、人づくりに貢献する」だれでも、いつでも、学ぶことができ、自ら企画したり、教えたりできる新しい学びの形をつくる事を掲げている。

石狩市長を学長に、市民ボランティア21名と市教育委員会の数名の協働で進めている。今年度5周年を迎え、記念講座・記念式典・記念誌の発行等記念事業を盛大に実施した。

平成21年から平成24年の4年間で、74講座、197コマ、6,668名の市民が受講している。また、石狩の歴史、地理、人材等を多くの市民、道民に知ってほしいとの願いから、現在107団体と連携し、市民カレッジ広報紙「あい風通信」、市広報、新聞等で連携団体の講座を紹介している。

道民カレッジには、開校時から連携講座としてお願いし、「ほっかいどう学」を中心に年間11講座ほどを実施している。

受講生には「道民カレッジ生」という事で、北広島市、江別市、遠くは旭川市、遠軽町などからも参加している。受講スタンプは常に市民カレッジと道民カレッジの両方を用意している。

市民カレッジは今後も市民以外にも広く開放し、時々のニーズに応じた、市民・道民が「知りたい」学びを提供しようと考えている。そのためにも道民カレッジとの連携は重要である。平成26年度には、アフリカの状況に詳しい当別町長宮司正毅氏を講師として「ネルソン・マンデラが夢見たアフリカ大陸」、ユーラシア協会石狩支部事務局長の三上正一氏を招いて「知られざる隣国ロシアとのかかわり」等、広く国際的な観点からの講座も予定している。多くの市民・道民の皆様を受講していただきたいと願う。

いしかり市民カレッジには課題もある。また、多くの成果もある。「学びの場として市民に浸透してきた」「学びの輪が生まれ、市民間の交流が見られる」「若い世代も受講してきた」等の成果を大切に、今後も活動を続けたいと思う。



いしかり市民カレッジ開校5周年記念講座  
「ひとりでは生きられない」



大人のサイエンス教室「実験でなっとく」



地質・地震から学ぶ「北海道の災害史」  
フィールドワーク



# 平成25年度 道民

## 「ほっかいどう学」大学放送講座

道民カレッジ『「ほっかいどう学」大学放送講座』は、道内各大学の先生が「ほっかいどう」に関わる内容について、それぞれの専門的見地からテレビ放送を通して講義をするものです。

どの講座も、現地取材やフリップ、VTRなどを効果的に使い、高度な専門的内容を分かりやすく解説されており、今年度も受講生のみなさんから大好評でした。

大学放送講座で勉強すれば、あなたも「ほっかいどう」に関してもっと深く知ることができますよ！

放送	大学名	講師	テーマ
第1回	北海道薬科大学	薬学部 教授 古田 精一	超高齢化時代の医療と介護 ～自宅・地域で生活できるように～
第2回	札幌大学	地域共創学群人間社会学域 准教授 武者 加苗	北海道外へ発信 ～医療観光・六次産業の挑戦～
第3回	北海学園大学	人文学部 教授 大石 和久	スクリーンの中の北海道 ～映画が描いた北の大地～
第4回	北海道医療大学	歯学部 教授 安彦 善裕	増えるドライマウス患者 ～道産農産物を使った製品開発～
第5回	北海道情報大学	経営情報学部 教授 古川 正志	6人で世界と繋がるどうみん ～複雑ネットワーク～
第6回	北海道教育大学 教育学部札幌校	教育学部札幌校 准教授 百瀬 響	意外と知らない？アイヌ文化 ～文化形成に至るまでの理論～
第7回	北海道大学	高等教育推進機構 准教授 三上 直之	ミニ・パブリックって何だ？ ～私の議論が政治を変える～



▲収録の様子

### 耳寄り情報♪

- 大学放送講座の地上波テレビ放送は終了しましたが…まだまだ観る方法があります！
  - ◆ほっかいどう学BBでの視聴（道民カレッジホームページからリンクがつながっています）
  - ◆情報交流広場（かでの2.7）ビデオブースでの視聴
  - ◆放送講座DVDの貸出（市町村、学校、学習サークル等の団体への貸出を行っています。詳しくは道民カレッジ事務局までお問い合わせください。）
- 講座の理解がすすむ！「放送講座テキスト」も好評販売中！
  - ◆講座をよりよく理解できるよう、大学放送講座テキストを道民カレッジ事務局で販売しております。番組に出演した講師の先生方による、放送内容に準拠した「教科書」です。テキストの購入を希望される方は、道民カレッジ事務局までお気軽にお問い合わせください。（事務局での直接販売も行っております。）



## 地域活動推進講座

地域活動推進講座は、平成25年度から始められた新しい講座です。

地域の様々な機関や団体等と協働しながら、地域づくり・まちづくりに関わっていくために必要なコミュニケーションの力を向上させるための講座で、今年は道内2圏域2会場で開催されました。主に開催地域に住む青年層を対象に、まちづくりに精通した著名な講師や実践者を招き、ときにはグループワークなども交えながら、各会場4回の連続講座として実施されました。

### 空知圏域(沼田町)



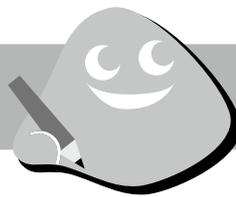
沼田町の魅力を町外に発信するためには、どんな方法が効果的だろう？

各町の現状や課題を話し合いながら、積極的に交流しました。



### 十勝圏域(鹿追町・上士幌町・新得町)

# カレッジ事業一覧



## 称号取得者セミナー

称号取得者セミナーは、称号取得者のみなさんがこれまで学んできたことを振り返り、学習内容の理解を深め、今後の学習意欲の向上を図るとともに、地域づくり、まちづくりに活かす契機とすることを目的として、毎年開催しています。

今年度のセミナーは、「北海道を元気にするために、自分たちが称号を持っている専門コースではどんな働きかけができるか」をテーマに、調査・研究・発表を行いました。

班	コース	調査テーマ
A	ほっかいどう学	「アイヌの言語について、地名との関わりを考える」
B	ほっかいどう学	「観光王国を目指して」
C	能力開発	「北海道を元気にするために～道民カレッジ生としてICTを活用する～」
D	環境生活	「北海道の食品の安全・安心について」



どの発表もとても内容が濃く、さすが称号取得者！という感じです。



現地調査に出かけたグループも！



最後には、みなさんで「北海道を元気にするために自分たちには何が出来るか」を熟議。専門コースのそれぞれの学びが有機的につながり、関連し合うことが重要、とまとまりました。

## 指定講座

指定講座とは、道民カレッジ「ほっかいどう学」コースの連携講座の中から、必修1単位または「ほっかいどう学」コースの単位が認定されると指定された講座のことです。

今年度開講された指定講座について、その一部の様子を担当の方からご紹介いただきました。

### 「ほっかいどう学」かでの講座(北海道生涯学習協会)



「ほっかいどう学」に関わる内容で5月から計10回開催しました。演奏を交えて行われたフルートの歴史講座や、日本南極観測隊の裏話など、毎回100名ほどの受講生にお集まりいただき大賑わい！講座終了後には受講生と講師が気軽に交流できるサロンの開催や、離れた町との講座中継も実施しました。(左の写真はサロン開催の様子)

### 道南百景その6(森誘クラブ)

雪の專業沼氷上ウォーク(2月12日実地)  
快晴の大沼国定公園内の專業沼は氷の厚さ約40cm。前夜降った雪7cmほど。その上を対岸のアオサギの営巣の跡が見える地点まで氷上ウォーク。  
雪は朝日に当たりキラキラ光っており、真っ白な駒ヶ岳は印象的だった。



### 苫小牧市博物館大学講座(苫小牧市博物館) ※新年度から苫小牧市美術博物館大学講座

例年受講生の皆様に好評をいただいている本講座には、今年度も定員を上回る157名の応募がありました。新年度は名称も新たになり、多彩な講師をお迎えして6月開講予定です。

### いしかり市民カレッジ主催講座 (いしかり市民カレッジ)

「村山耀一さんと歩く石狩歴史散歩」  
毎年開催の人気シリーズ「村山耀一さんと歩く石狩歴史散歩」は、市内の石碑を巡り、先人の苦勞や熱い思いに触れながら石狩の歴史を学びます。毎回配布される厚い資料は、貴重なものばかりで、これもまた受講者にとって魅力のひとつです。受講者の中には「実母の故郷を知りたい」と、遠方から参加される方もいらっしゃいます。平成26年度も開催しますので、ぜひご参加ください。



## 数字で見る平成25年度 道民カレッジ

(集計期間：平成25年4月1日～平成26年2月28日)

**394人** 1年間で道民カレッジに入学した人の数

**19人** 新たに称号取得者の仲間入りをした人の数

**2,894講座** 1年間に開催された連携講座の数

**78,566人** 連携講座に出席した受講生の数



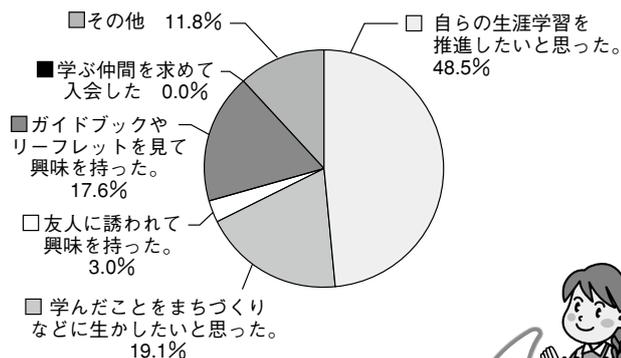
# 「道民カレッジ」モニターアンケート集計結果



道民カレッジ事務局では、道民カレッジ事業に対し、広くご意見をいただき事業運営に反映させるため、道民カレッジ称号取得者50名、称号をお持ちでない一般の道民カレッジ生100名を「道民カレッジモニター」として無作為抽出し、アンケートにお答えいただきました。今号では、その集計結果について、一部を抜粋して紹介させていただきます。

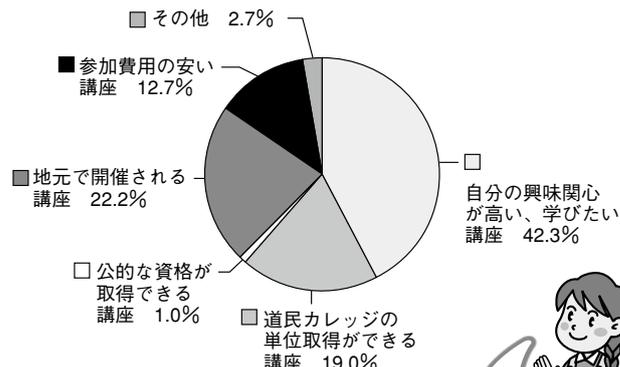
調査の概要	1. アンケートの調査対象	道民カレッジモニター 150名 称号取得者 50名 称号をお持ちでない一般道民カレッジ生 100名
	2. 調査期間	平成25年12月5日～12月26日
	3. 回答数	49名（回収率32.7%）

## Q. 道民カレッジに入学した動機は何ですか。（複数可）



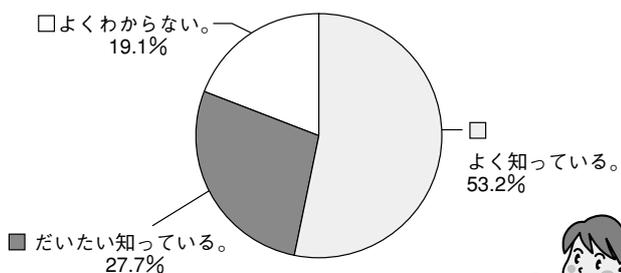
入学動機の第1位は「自らの生涯学習を推進したいと思った」が48.5%で断然多く、次点は新たに加えた回答項目の「学んだことをまちづくりなどに生かしたいと思った」でした。道民カレッジには「自分自身の向上のために」入学する人が多いと言えるのではないのでしょうか。

## Q. 講座を受講するとき、何を基準として講座を選択しますか。（複数可）



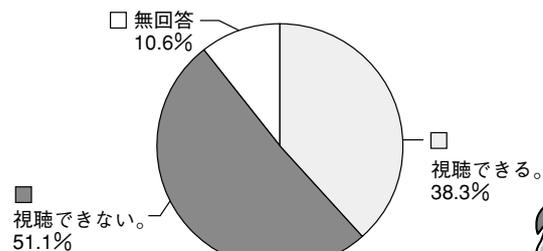
「自分の興味関心が高い、学びたい講座」が42.3%で一番多く、「地元で開催される講座」「道民カレッジの単位取得ができる講座」と続き上位を占めています。講座を受講する場合は、「興味関心、地元、単位、安い」が選択基準のキーワードになっていると推察できます。

## Q. 称号取得の取得方法を知っていますか。



「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせると、昨年度の90.7%に対し今年度は80.9%と約10ポイント減少していました。称号申請の方法が分かりづらいというご意見もいただくため、より分かりやすい称号申請の解説シートを作成し、道民カレッジホームページでの公開も始めました。ぜひご覧ください。

## Q. インターネット動画サイト（ほっかいどう学BB）で大学放送講座を視聴できますか。



「視聴できない」が51.1%であり、インターネット操作が不慣れな方、視聴できる環境が整っていない方が半数以上であると推察できます。来年度は大学放送講座が「大学インターネット講座」に変わり、従来のテレビ放送ではなく、インターネットで視聴する講座となります。道民カレッジ事務局では、講座DVDを活用した勉強会の開催や、講座テキストの発行など、インターネット講座視聴が難しい方のためのサポートを検討中です。（詳細はp5の記事をご覧ください。）

### 《道民カレッジについてのご意見、ご要望（一部抜粋）》

- 多忙でしばらくご無沙汰でしたが、また時間を作って参加したいと思います。「いつでも戻れる場」は、特に我々シニア世代には大切な場だと思います。
- 受講生同士の交流がもう少しできるような場があれば望ましい。
- 地方で開催される講座、参加費用の安い講座が多ければ助かります。  
→道民カレッジを受託している（公財）北海道生涯学習協会では、p3で紹介した、かでの講座の地方同時中継を来年度も検討中です。「ぜひわたしの町で!」というご希望のある方は、どうぞ道民カレッジ事務局までお気軽にご相談ください。また、かでの講座は一昨年度と比較して50%値下げし、500円での受講が可能となりました。ぜひご参加ください。

# 速報!

## 平成26年度の道民カレッジ事業

### 大学放送講座が「ほっかいどう学」 大学インターネット講座に移行

平成二十三年度から実施されてきた「ほっかいどう学」大学放送講座が、平成二十六年からは「ほっかいどう学」大学インターネット講座へと変わることが決定しました。

専用の講座視聴サイトにアクセスすると、講義動画の視聴と、関連する資料の閲覧、ダウンロードが可能となり、受講生の好きな時間に、何度でも繰り返し講義を視聴することができるようになります。(講座視聴サイトの公開は、今秋頃を予定しています。)

#### 平成二十六年「ほっかいどう学」かでの講座開講決定

平成二十六年度も「ほっかいどう学」かでの講座の開講が決定しました。今年度の受講生の方からアンケートで寄せられたご意見・ご要望を参考に、来年度も多彩な分野から講師をお招きします。今年度試行的に実施していた「後方受講席へのスクリーン追加設置」やかでの講座終了後に講師や他の受講生と交流できる「かでの講座サロン」(実施回未定)、離れた市町村との同時中継も本格実施予定です。また、平成二十五年度に引き続きさらに受講料の値下げを行い、一講座五百円での受講が可能となりました。この機会にぜひ「ほっかいどう学」かでの講座に足をお運びください。

道民カレッジ事務局では、インターネットによる講義の視聴が難しい方のために、講座DVDの貸出、講座テキストの作成、DVDを活用した市町村での学習会開催などの各種支援を検討中です。

大学インターネット講座についての詳しいご案内は、道民カレッジホームページで随時更新して参りますので、ご確認ください。



#### 平成26年度道民カレッジ連携講座(指定講座)

### ほっかいどう学『かでの講座』開設内容

- 会場：道民活動センター(かでの2.7) 820研修室 札幌市中央区北2条西7丁目
- 定員：120名 ※事前申込者が定員に達していない場合、当日申込も受け付けます。
- 単位認定：道民カレッジの指定講座として必修1単位または「ほっかいどう学」コース2単位のいずれか
- 受講料：1講座500円、全講座受講の場合は4000円(受講料は受講当日に納入ください。既に納めた受講料は返却できません。)
- 対象：どなたでも受講できます。

回	期日	講師	講演テーマ
1	5月16日(金) 13:30~15:30	北海道医療大学 薬学部 准教授 堀田 清 氏	「漢方の極意~心が元気で身体も健康~」
2	6月17日(火) 13:30~15:30	北海道新聞社 編集局 解説委員 菅原 淳 氏	「卓上四季執筆~新聞コラム論~」
3	7月28日(月) 13:30~15:30	北海道大学 文学研究科 助教 平井 上総 氏	「戦国時代における大名の権力構造」
4	8月4日(月) 13:30~15:30	エンディング総合支援サポートの会 会長 池田 智裕 氏	「終活してありますか?~エンディングノートの必要性~」
5	9月19日(金) 13:30~15:30	北海道教育大学 非常勤講師 瀧野 喜星 氏	「古代文字の歴史と楽しみ方~古代文字を書いてみよう~」
6	10月9日(木) 13:30~15:30	ドラム・打楽器奏者 大山 賢司 氏	「カホンで楽しむドラムのリズム~世界のリズムにのせて~」
7	11月27日(木) 13:30~15:30	北海道新聞社 編集委員 相原 秀起 氏	「知られざる北の国境」
8	12月15日(月) 13:30~15:30	心臓血管センター北海道大野病院 国際山岳医 北海道警察山岳遭難救助アドバイザー 大城 和恵 氏	「心臓病ってこわくないの? ~三浦雄一郎氏エベレスト登頂を支えた経験から~」
9	1月20日(火) 13:30~15:30	北海道グリーンファンド 事務局次長 小林 ユミ 氏	「北海道の自然エネルギーの可能性と実践」
10	2月12日(木) 13:30~15:30	日本ホスピタルクラウン協会 北海道支部 事務局 太田 恵美 氏	「病院に笑顔を咲かせる道化師~病院訪問活動を通して~」

# 新規 道民カレッジ称号取得者一覧

(平成25年9月1日～平成26年2月28日)

(敬称略 本人から承諾を得ている方を掲載しています。)

● 学長奨励賞 (7000単位取得) ●  
榎本 聡子 (札幌市)

● 学長奨励賞 (4000単位取得) ●  
佐々尾雅志 (札幌市)

松田 幸雄 (帯広市)  
内田美佐子 (音更町)  
入谷 輝男 (旭川市)

● 学長奨励賞 (2000単位取得) ●  
酒井 清美 (湧別町) 逢坂 利昭 (札幌市)  
宇賀 邦久 (札幌市) 山田 芳二 (札幌市)

藪崎 孝一 (札幌市)  
林 葵 (帯広市)  
林 君雄 (札幌市)

● 学長奨励賞 (1000単位取得) ●  
中西 紀悦 (札幌市) 坂本 曠光 (北見市)  
宮本 高市 (帯広市) 堀北 真吾 (札幌市)

● 博士 (300単位取得) ●

白山 正 (札幌市・ほ)  
松浦 宙子 (札幌市・ほ)  
林 君雄 (札幌市・ほ)  
遠藤 秀雄 (雨竜町・教)  
阿部 英子 (札幌市・環)  
堀北 真吾 (札幌市・ほ)

荒 博 (札幌市・環)  
沢田 俊雄 (札幌市・教)  
中西 紀悦 (札幌市・環)  
山崎 繁光 (室蘭市・ほ)  
宮本 高市 (帯広市・環/教)  
宇賀 邦久 (札幌市・健)

大方 英雄 (旭川市・健)  
落合 俊忠 (札幌市・健)  
坂本 曠光 (北見市・教)  
内田美佐子 (音更町・健)  
小敷澤幸子 (北広島市・教)  
鈴木 努 (上富良野町・教)

● 修士 (200単位取得) ●

藪崎 孝一 (札幌市・ほ)  
猿田 勤 (釧路市・教)  
北口 清美 (札幌市・環)  
林 君雄 (札幌市・ほ)  
中西 紀悦 (札幌市・環)  
山崎 繁光 (室蘭市・ほ)  
阿部 英子 (札幌市・環)  
宮本 高市 (帯広市・能/環/健/教)  
山田 芳二 (札幌市・健)

土佐林 薫 (札幌市・教)  
秋元 博子 (札幌市・環)  
木下 睦子 (札幌市・健)  
丸尾 清一 (札幌市・ほ)  
田中 裕史 (帯広市・能/健)  
林 葵 (帯広市・教)  
坂本 繁光 (音更町・能)  
樋口 雄幸 (札幌市・教)  
田仲 可昌 (森町・ほ)

阪 正二 (札幌市・教)  
林 芳男 (札幌市・環)  
落合 俊忠 (札幌市・健)  
平井 文雄 (札幌市・環)  
坂本 曠光 (北見市・教/環)  
矢野 公信 (帯広市・環)  
藤内 英夫 (札幌市・教)  
武佐 博 (江別市・ほ)

● 学士 (100単位取得) ●

芦野 幸子 (札幌市・教)  
入谷 輝男 (旭川市・健)  
秋江 慶子 (帯広市・環/健)  
落合 俊忠 (札幌市・健)  
坂本 曠光 (北見市・教/環)  
阿部 英子 (札幌市・環)  
古屋 道義 (旭川市・教)  
柏谷 順子 (札幌市・教)

蛭川 剛之 (江別市・教)  
柏谷 順子 (札幌市・健)  
山内ヒメ子 (札幌市・ほ)  
長森 武 (札幌市・教)  
藤田 仁助 (帯広市・環)  
林 芳男 (札幌市・能)  
堀北 真吾 (札幌市・環)  
藤森瑠璃子 (札幌市・ほ)

多田 成夫 (札幌市・ほ/環)  
石岡 六美 (鹿部町・教)  
北口 清美 (札幌市・教)  
豊 純子 (稚内市・ほ)  
矢野 公信 (帯広市・環/能)  
宮本 高市 (帯広市・健)  
滝沢 秀人 (札幌市・能)  
山内ヒメ子 (札幌市・教)

※称号取得の方法や手続きに関するお問合せは、下記の道民カレッジ事務局まで、お気軽にご連絡ください。

なお、道民カレッジのホームページでは、称号取得のモデルプランを見ることができます。

(注) ほ：ほっかいどう学 能：能力開発 環：環境生活 健：健康・スポーツ 教：教養

称号取得者等

学 士	修 士	博 士	学長奨励賞						
			1000単位	2000単位	3000単位	4000単位	5000単位	6000単位	7000単位
638人	446人	353人	79人	21人	7人	3人	2人	1人	1人

## カレッジだより Vol.25

平成26年3月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局〔(公財)北海道生涯学習協会〕  
〒060-0002  
札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階  
TEL (011) 204-5780 FAX (011) 281-6664  
URL <http://manabi.pref.hokkaido.jp/hsgk/college/>  
Eメール [college@manabi.pref.hokkaido.jp](mailto:college@manabi.pref.hokkaido.jp)  
twitter <https://twitter.com/doumincollege>

## 道民カレッジ事務局から

1. 道民カレッジ生で住所変更等があった時は、ご面倒でも事務局あてお知らせください。
2. カレッジだよりでは、道民カレッジ生のみなさんからの便りを募集しています。「私がしている生涯学習」や「道民カレッジでこんな体験をした!」など、なんでも結構です。お気軽に事務局までお送りください。(お送りいただいた原稿は返却いたしません。ご了承ください。)  
紙面でご紹介させていただく場合がございます。